（第三種郵便物認可）　昭和二年四月廿三日　THE IWAKIJIHO　（土曜日）　第三千九百九十號　（一）

廿二日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷人　岡田弘盛
印刷所　知徳活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金壹圓
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

東京電話

全國各銀行は二日間臨時休業

全國各銀行は二十二日、二十三日の二日間一齊に臨時休業を行ふ事に組合銀行の總會で決議された。

支拂猶豫令發布

期間は二十一日間

政府は財界金融界の安定に關する具体的方策を樹立するに至るまで銀行取付による經濟上の不安を防止するため、憲法第八條により私法上の金錢債務の支拂延期及び手形等の權利保存行爲の期間延長に關する緊急勅令即はち支拂猶豫令を交附する事に決し二十二日樞密院會議を經て施行の手續をとる事になつた。

一、猶豫期間　二十一日間

左のものは猶豫をなさず。

一、公共團体債務の支拂
一、給料及勞銀の支拂
一、給料及勞銀の支拂のためにする銀行預金の支拂
一、前項以外の銀行預金にして一口五百圓以下のもの

▲預金者の生活に必要な預金支拂をなさざる事は不忠實なる所であるから一人一口百圓を最高限度として支拂をなす事を申し合はせた。社會一般とは石城郡銀行組合が此際休業しないでかゝる誠意ある態度に出でた事に感謝してゐる向きが多く預金支拂額の制限は震災當時の事情に鑑み止むを得ない事であると是認してゐる模樣で各銀行共極めて安泰であるといふ。尚は各行共二十二日、二十三日の兩日中に預金した者に對しては

全國銀行が休業しても

石城郡銀行は休業せぬ

二日間だけ拂戻額を制限

けふ組合銀行主腦者會

全國各銀行では中央財界の現狀に鑑み組合銀行總會を開き二日間の臨時休業を行ふ事になつたが、政府では憲法第八條により二十日間の支拂猶豫令を發する事になつたので石城郡銀行組合では二十二日午前七時半から平町磐城銀行組合に銀行主腦者會を開き協議の結果

▲全國各銀行が二十二日、二十三日兩日休業しても石城郡銀行組合では休業せざる事

その全部でも支拂ひをなす等で百圓を限度とする拂戻しは既往に預金した分である。

▲税務主任會　石城郡各町村税務主任會は來る二十四日二十五日の二日間平税務署樓上に開き改正税制其他について研究協議する。

▲平青年總會　平青年團總會は二十四日正午から平第一小學校に開き入山炭礦庶務課長吉田宗雄氏の「最近の勞農ロシア」についての講演がある。

▲大谷氏寄附　平町大谷久藏氏は還暦祝として平商業學校、縣社子鍬倉神社、大寶寺、磐城訓盲院、平町役場、平第一第二兩校に唐金火鉢を寄附した

藤原三井炭礦の

爭議漸やく解決

平山高等課長等調停

磐崎村藤原三井炭礦では曩に坑夫組合支部で要求事項を會社に提出し爭議中であつたが、二十一日午後一時から平山高等課長樫村平署長等調停に入り組合側關家博氏等が會社側の責任者と會見の結果

▲勞働時間を八時に短縮する件は拒絶

▲最低賃銀最低一圓七十錢とする事は保留

▲退職手當制は三井礦業所一般率に於て實行する事

▲七分證明を現金とし五日毎に支拂ふ事は要求通り

以上の如き妥協成りこゝに爭議が圓滿に解決したが、組合側では午後五時から附近で報告演說會を開いた。

果樹組合聯合會

石城梨は近年益々聲價をあげて東京問屋筋との取引にも好評を博するに至つたので此際郡内當業者を打つて一丸とする結束力を必要とし野村技師の計劃であつた果樹組合聯合會は愈々設立される事となつて二十日午前十時平町元石城郡役所に各組合幹部會を開いて具体的に協議した外左記事項を打合せた。

果樹園の利用、梨果即賣品評會開催、病虫害驅除豫防劑原料其他幹旋郡農會幹旋票の件

◈四倉驛で列車轉覆

二十二日午後一時頃四倉驛構内で入替中の貨車二輛脱線轉覆したが人畜に死傷なし

同線路は本線でないため列車運轉に故障なく目下原因取調中である。

心ある人よ……注目せよ

爭議による莫大な損害

炭價は暴騰。鐵道納炭さへ行惱む

地方産業界の大問題

石城郡に於ける勞働爭議は過般の磐城炭礦の二十四日間を筆頭に入山、三井、小田等各礦に飛火し現在の本郡炭礦はこれが大打撃を蒙つてゐる、磐城炭礦に於ける過般の損害は實に五十萬圓の巨費に達してゐると言はれそれがため石城地方の受けた損害極めて甚大なものあり、取引關係にある各商店の如きも之がため痛手を蒙つてゐる、入山の如きも湯本町の打撃は莫大なもので戰場の如き現在の狀態が茲數日繼續すれば町の各商店は閉塞せねばならぬ騷ぎに町議區議等が協議して爭議團撤退を平署に陳情した等の狠狽ぶりを見せ、平署でも地方産業上由々敷大事として種々協議中の由であるが、目下の處何とも手の下しやうがなく全く手を燒いてゐる模樣である、かくの如く石城の天地は全く爭議化したわけであるが、かゝる問題が續發する事は本郡の消長に極めて重大な關係を有つ事として一般識者は何れも憂慮の目をみはつてゐる。

出炭量は一日三千噸であつたのが過般二千噸に減じ、入山も亦によれば鐵道省では確實性を有してゐる北海炭を使用する意志噸に減じ三井炭礦も十數日に亘つて殆んど出炭がない有樣であつたので、鐵道納炭も完了するは閉塞せねばならぬ騷ぎに町議區議等が協議して爭議團撤退を平署に陳情した等の狠狽ぶりを見せ、平署でも地方産業上由々敷大事として種々協議中の由であるが、目下の處何とも手の下しやうがなく全く手を燒いてゐる模樣である、かくの如く石城の天地は全く爭議化したわけであるが、かゝる問題が續發する事は本郡の消長に極めて重大な關係を有つ事として一般識者は何れも憂慮の目をみはつてゐる。

鐵道納炭の

期限は迫る

炭礦か狠狽

各炭礦の本年度鐵道省との納炭契約期はこゝ數日で滿期となるが、本年度の納炭成績を見ると勞働爭議が各礦に祟り磐城炭礦は日本人のやる可き事ではない能と見られ、消息通の傳ふる處によれば鐵道省では確實性を有してゐる北海炭を使用する意志ありとさへ傳へられてゐるなど爭議が齎らした地方の損失でなくて何であらう、又出炭減少に伴つて炭價の暴騰した事は即はち地方民の一大損害である。

入山の坑夫組合の

態度が怪しからぬ

藏重警察部長憤慨

常磐地方各炭礦が勞働爭議のため蒙つてゐる打撃、損失は以上の如くであるが、磐崎村藤原三井炭礦の爭議が二十一日を以て辛くも解決した外入山、小田、磐城、王城各礦の形勢依然不穩で入山の如きは三井炭礦にゐた爭議團が全部引上げて二十二日から入山に乘込むといふ騷ぎに立國自治會員の數を更に增加し之に對抗せしむる事になり、警察でも約二百五十名の警官必守となつて警戒中であるが、入山爭議について藏重警察部長は語る「入山炭礦の坑夫組合の態度は誠に怪しからぬと思つてゐるそれは過般の爭議で吾々が調停に入り圓滿に解決したものを再び今回の要求事項に入れ强ひて爭議を惡化せしめるやうな態度は日本人のやる可き事ではない今後は警官として少しも遠慮する處なく嚴重取締るやうにするの如くであるが、磐崎村藤原三方針である」と、何回となく手を燒かせられる爭議には遂に耐ねかねて確い決意を示してゐた

勿來町農事

實行組合長會

勿來町では十九日午後一時から同町役場で町内八十五の農事實行組合長會を開き此程磐崎村から同町に轉任した蛭田技術員臨席の上左記協議を行つた。

▲示談事項　組合内容充實、指導區域設定、組合事業計劃確定、部分的共同作業奬勵、共同販賣購買、勞力節約

▲必行事項　組合副業制定、農業經營改善、自給肥料の增殖並に肥料の經濟消費、病虫害驅除豫防奬勵、米穀品質向上納税組合完成、組合資金の造成、組合事業並に調査、農事相談所の利用、模範農家設置

四倉運送業 愈々合同

四倉町四倉運送倉庫株式會社、丸共運送店、長瀬運送店の三會社は過般來鐵道省の聲明に基き合同の計劃中であつたが此の程協調成立し五月一日から合同して四倉運送株式會社と改稱し從來の四倉運送倉庫會社で營業を行ふ事になつたが、之について二十三日丸共運送店で株主總會を開いた。

▲消防組に寄附

平町大字酒井字出倉荒川庄次郎（四九）は十八日勿來町と茨城縣下關本村との間の道路で新聞紙包みのダイナマイト數個を發見その筋に届け出でたが持主不明で調査中である。

大正十三年から宿屋兼料理店を營業して來たが、常に不良分子の集會所や賭博開帳場となつたり女中に密淫賣をさせ或は不良男女の密會となり兎角風紀を紊して居たので四倉署から警告を與へられたに拘らず改悛の情なき爲め斯くは處分されたものであると。

紙に包んだ ダイナマイト

▲消防組に寄附

平町仲間町柳町同　勤人向　一〇円〇〇　六、六、三ノ三間
同　同　七、五〇　六、六ノ二間
同　同　六、〇〇　六、四半ノ二間
內郷村小島　勤人向　八、〇〇　六、六、八ノ三間　其他風呂場物置附
同　小島　勤人向　八、五〇　八、六、六、四半ノ四間　其他風呂場、物置附

平町白銀町（電話三二番）

加藤丈夫營業所

毎週土曜日デー

（午後二時ヨリ…午後十時まで）

一品 十錢 メンチカツ カレーライス

花見の御歸りは是非御試食下さる樣願上ます。

カフエー タヒラ

平町一丁目【電話六二〇番】

▲下船尾農實總會

崎村下船尾農事實行組合では三十一日午後二時から飼村梵音寺に開き昭和二年度事業について打合せの後野村技師、青山技手の農事講話あり午後三時から酒宴を張つた。

不良料理店 營業停止

本縣知事に二十一日から六ヶ月間營業停止を命ぜられた四倉町元町料理店伊藤乙次郎（四八）は

千鳥ケ公園 休憩所

四倉町新町消防組第一部では有志の寄附を仰ぎ千鳥ケ公園にあづま家二棟を建築し遊覽客の休憩所に充てる事になつた。

▲公人私人

▲縣會議員草野順平氏　二十一日福島市から歸平

▲平在郷軍人分會長山崎清三氏　二十一日仙臺行

▲大浦村吉田久治氏 小川江節に對する三十年間の功績により銀盃を贈らる。

電報の心得（三）

平郵便局員談

尙、もう一つ願ひ致し度いのは、鉛筆で書くことは、なるべく避け頂き度いのであります。薄い鉛筆で書かれた電報は、殊に夜間電燈の下で、作業する電信局員が隨分と困難を致します。先程申した樣な、讀み間違ひを起さぬ爲め、又は墨をなるべくインキか、又は墨で書いて頂くことに致したいのです。大文字のタイプライターで打ち下さつたのは更に結構です。それは、或る人が田舍から東京へ出て間もなくの日曜のことでした、友人がシビヤへ行かうと誘つてくれたので、何處だと聞返したら、田舍者だからあと言つて笑はれました。その時は、田舍者として恥かしかつたが、今ではシビヤと云ふ事の出來ぬ友人が、却つて、氣の毒に考へられると申しました。東京の人の中には、シボ（紐）ヤシ（朝日）と云ふ人がありますが。東北の人の中にもスブヤ（澁谷）スンズク（新宿）と云はれる方が少くありません。斯う云ふ電報に出會した人は一寸面喰ひます、然も事實あつた事なんです。

ブヤチヤオタアシスシセ　チチシンデオイワイモウス

東西に三百里を隔てた地ではもはや意味が通じませぬ。受取つた人が面喰ふばかりでなく、電信局員もスブヤやシビヤと書かれたのでは困ります。電報が行違つて、戸迷ひをせぬとも申されませぬ。地方の方言や訛は、避けて頂き度いものであります。

文字はハツキリと亂雜に書くと見誤ります

數字は大きく小さいと假名と間違ひます

二、名　宛

單に、ワカマツと言へば九州の人は福岡縣と思ひ込み、東北の人は福島縣と考へるでせう。さりながら、東京や大阪の眞中では一寸迷はざるを得ませぬ。また、タカダと言へば、多くの人は新潟縣だと答へます。中學や大學校の入學試驗には、間違ひなく合格致しますが、電信局では遺憾ながら落第です。タカダとあるから何んでもかんでも新潟縣のタカダにやつたら、高田の電信局の人はたまりませぬ、それもその筈です。高田と言ふ地名は新潟縣の外にも奈良縣、岐阜縣、大分縣、岩手縣、福島縣にあります。岩手縣の高田に行くべき電報が新潟縣へ參つても高田の電信局員や配達係を困らせる許りで配達されることはありませぬ。間違つて配達されたら、隨分と受取つた人を驚かせることでせう。發信人には、更にた氣の毒な次第です。

小店員募集

尋常小學六年修業若クハ高等二學年修業程度ノ者（十五才未滿）履歷書本人持參ノ事

平町四丁目十五

磐城 **工業商會**

電話一一八番

編輯日記

（廿二日）　馬村

▲荒川いばらき君　宇都宮支局に榮轉。後任として茨城縣下館町から中村謙藏氏着任。謙嚴か初對面の感じが好い人。

▲久しぶりで磐新田村君に逢つたら、コテをかけた頭髮が奇麗になつた事。

特別優秀映画公開

エデユケーション映畫 喜劇 全二卷 **猛牛のシヤツポ**

栗島すみ子、石河薫、三田英兒、島田嘉七、花川夏子

母性愛大悲劇 全八卷 **嘆きの薔薇**

運命の境遇を造るのか、境遇が運命を造るのか、生まれぬ子の爲めに繼母は熱愛捧げ盡さんとす、しつ迄血の樣な涙の日……

尾上多見太郎主演、櫻木梅子、桂武男助演

日活特作雄篇 劍豪魔人 全七卷 **千葉周作**

劍聖千葉周作が一刀の鞘を開つた時、嵐に捲き起つた、雲の如く集り寄る劍聖劍魔、物たそろしき劍爭の幕が……

松之助秘藏映畫十種の內

新版 **山安兵衛** 前後十一卷全部上映

故尾上松之助、中村吉十郎、瀧澤靜子、澤村春子、寶川延郎

當る二十二日替

日活 松竹 **平館**

新入學期……**靴**

品と値の競爭なら絕對負けぬ

……市價の二割方安價

出來合品豐富

磐城平町 電七〇二

大塚支店 製靴部 運道具部

花は櫻木 料理は イワキ食堂

印刷物は 加納活版所

眼・鼻・舌の喜ぶ 一の井の洋食

特に注意致して居ります事は是非御試食下さい。

國際料理研究所特派講師 杉林太美雄

神戸海上運送火災保險會社
東洋海上火災保險會社
共保生命保險株式會社

平代理店

貸家

平町仲間町　勤人向　一〇円〇〇　六、六、三ノ三間
同　柳町　同　七、五〇　六、六ノ二間
同　同　六、〇〇　六、四半ノ二間
內郷村小島　勤人向　八、〇〇　六、六、八ノ三間　其他風呂場物置附
同　小島　勤人向　八、五〇　八、六、六、四半ノ四間　其他風呂場、物置附

平町白銀町（電話三二番）

加藤丈夫營業所

◎皆樣方に是非御覽願ひたい春ワイシヤツ

特價物 一圓二十錢 一圓五十錢

賣切れにならぬ中に

紳士用洋傘
婦人洋傘
春帽子各種

平町四丁目【電話百四十番】

鶴屋洋品店

健腦、强精、美血 新藥「神」

進んで頭腦明晰、元氣旺盛、精力絕倫を望む人は「神」治」に依つて滿足せらるべし

本舗 株式會社松田博愛堂

代理店 平町二丁目 **大平屋藥店**

藥價壹圓、貳圓、參圓、五圓　電話六四二番